

第64回 定期総会

令和7年5月30日(金) 総合ケアコミュニティ・せせらぎ
来賓 31名 出席者 29名 書面出席者(委任状) 72名

渋谷区手をつなぐ親の会 会長 堀口 智子

渋谷区は変わっていく時期が来ていると感じることが多々あります。教育では、新しい学校づくり整備方針に基づき「未来の学校」が整えられていきます。子どもたちがどのように学び育っていくのか、どんなことを経験し感じとるのか、それは大きな宝となって将来に結びついていきます。東京都では校舎の老朽化や児童生徒数の増加等に対応するため、都立特別支援学校の整備が進められています。渋谷区の一部が学区域である中野特別支援学校は、この4月に東中野のさくら校舎に仮移転し、47年間お世話になった南台の校舎は改築・改修が進められます。学区域の再編成も検討されるそうなので、生活の場に近く、通学しやすい学区域を求めていきたいです。渋谷区と東京都の密接な関係性が重要です。

地域では、「まちづくり」が進められていますが、「誰もが」暮らしやすい地域になっていくことを切望します。「障がいのある〇〇さんがいる」が出発点ではなく、地域に住んでいる〇〇さんがお困りの様子、どんな助けが必要なのか、何があれば出来ることが増えるのか、そういったことを皆で考え、認め合い、支え合える地域・しゅやになって欲しいと願います。

ひとりではありません。たくさんの方々が見守ってくださっていますし、必要な時には助けてくださいます。そのことを心に留めていてください。私たちはこれからも手をつないで歩いて参りますので、どうかご尽力いただきますようお願いいたします。



渋谷区長 長谷部 健

渋谷区手をつなぐ親の会の総会開催、おめでとうございます。

日頃から、区政の福祉分野でさまざまご協力いただき、ご助言もたくさんいただいております。

いま学校の建て替えに取り組んでいますが、ちょうど渋谷区が戦後に人口がぐっと増えて、その頃に作った施設が一斉に老朽化しています。現在、計画的に建て替えを進めながら、次の100年を見据えて、次の世代に残したいものやより使いやすくなる環境づくりといった視点を持って考えていきますので、引き続き皆さんの想いやアイデアをお寄せいただき、力を貸していただけるとありがたいです。

今年はいよいよデフリンピックが開催されます。手話講習会も段々と受講者が増え、ボランティアも順調に集まっていると聞いています。障がいに対する意識が変わり、社会の中で障がいや違いが普通になっていく、一人一人に対してサービスが行き届く、そういったきっかけになる大きなチャンスだと思いますので、ぜひ皆さんも一緒に盛り上げていただければと思います。

今年はどうも暑い夏になると言われていますので、引き続き健康にご留意いただきながら、親の会の活動も頑張っていたいただければと存じます。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。



第64回 定期総会 第一部



第二部懇談会「緊急時対応について」

障がい者サポートカードを作成して緊急時に備えましょう!

渋谷区障がい者緊急相談窓口

☎ 03-6276-8370

対応者：コネクTしびや相談者

FAX：03-6276-7991

mail：soudan@shibuyaito.com



▲障がい者
サポートカード

▲障がい者
緊急相談窓口



渋谷区福祉部 部長・課長 着任のご挨拶



渋谷区 福祉部長・

高齢者政策担当部長 原 信吉

本年4月に福祉部長に着任した原と申します。手をつなぐ親の会の皆様には、障がい者福祉課に在籍した平成28年

度から令和元年度までの4年間、計画策定をはじめ、サービスや施設のあり方に関するご意見やご助言、また「しぶはち隊」の活動を通じた理解促進へのご協力など、多方面で大変お世話になりました。

5年ぶりに福祉行政に携わりますが、障がい者福祉に留まらず、高齢・介護、生活困窮、成年後見、重層的支援体制など各分野の連携を強化し、広く横断的に施策を推進していく所存です。

今後も、皆様と手をつなぎ合いながら、「誰もが自分らしく生きられるまち」の実現に向け、一歩ずつ着実に前進してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。



渋谷区 福祉部 障がい者福祉課

課長 小林 由江

今年度より障がい者福祉課長に着任しました。これまで、教育委員会の地域学校支援課や福祉部生活支援課で、地域と学校の連携や生活困窮者と女性の相談支援に携わってきました。この経験を活かし、障がい福祉施策の地域連携や、生きづらさを感じている人たちの相談支援に尽力していきたいと思っています。

昨今、ハード面でのバリアフリーが進む中、一方の便利のためにしたことが他方を不便にするといった、矛盾を感じることがありました。でも、声掛けや手助けといった「心のバリアフリー」には、果てしない可能性を感じています。渋谷区がだれにとっても「やさしいまち」になるための一助を担ってまいります。今後ともよろしくお願いたします。

※ご本人の希望により、福祉施設に通う方が描かれた似顔絵を掲載しています。

プルデンシャルさんありがとう！

「プルデンシャル生命保険会社」さんとのつながりは、恵比寿に営業所のあった1995年に始まっていますから30年にも及んでいます。渋谷区の社会福祉協議会を通して、ボランティアとして当会にご協力の申し出があったのが始まりです。以来、レクリエーションや日帰り旅行、「くみの広場」のバザー開催や「二十歳を祝う会・新年会」のビンゴ大会など、数多くの活動に人的にも財的にもご支援をいただいております。年齢を重ねていく私どもの子ども達にも分け隔てなく接して下さって、言葉や文字では言い尽くせない感謝の気持ちです。「無償のボランティア」の言葉と実践をしっかりと教えていただいている私達です。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

(渡辺 宣子)



▲特設サイト

▲記念動画



くみの広場 2024



二十歳を祝う会・新年会 2025

首都圏第一支社 第1営業所 所長 安田 貴之
プルデンシャル・ファイナンシャルは創業150周年を迎えることができました。

これもひとえに、地域社会の皆様のご支援とご理解のおかげと深く感謝申し上げます。

親の会の皆様が、日々お子様の未来のために手を取り合い、温かいコミュニティを築いていらっしゃることに、心から敬意を表します。私たちも、「人を想う心」を大切に、ボランティアを通じてささやかではありますが、皆様のお力添えが出来るパートナーであり続けたいと考えております。今後ともよろしくお願申し上げます。

東京第三支社 第一営業所 櫻井 誠治
「渋谷区手をつなぐ親の会」の皆様方にお世話になり四半世紀以上になります。皆様方のお陰で様々なイベントを通じて楽しい時を過ごさせていただいていること、心より感謝申し上げます。

生命保険の基本精神に立ち返り、社会的意義を実現して行くことが我々の使命であると考えております。今後もライフプランナーによるパーソナルなサービスを通して皆様に「心の平和と経済的な安心」をお届け出来るよう全社一丸となって邁進して参りますので今後ともよろしくお願いたします。

福祉講座「親なきあと」勉強会

2月6日(木) 総合ケアコミュニティ・せせらぎ



講師の谷田綾乃先生は、大田区で「親なきあと」相談室を開いている行政書士でいらっしゃいます。親なきあとの対策について事例を挙げて分かりやすくお話していただきました。

先生は親なきあとの準備として、元気なうちに遺言書を作成することをお勧めされています。遺言書がないと相続の時、障がいがある子には成年後見人がつくことになるからです。

成年後見人は相続人の法定相続分を厳守するため、障がいのある子が自由に使えない必要以上の大金を相続した事例や不動産が共有になり売却できなくなった事例などを伺いました。また叔父・叔母の相続で障がいのある子が法定相続人になる事例のお話もありました。

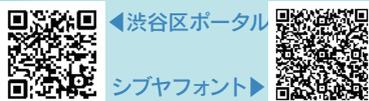
遺言書を作ることによって、挙げられたような事例を回避することでき、遺言執行者を決めて障がいのある子を相続手続きに関わらせずに済むメリットを知ることができました。

(村上 春奈)

知的部交流会 3月1日(土) **ボウリング大会**

3月は恒例のボウリング大会。普段なかなか入れない笹塚ボウルに入った途端、熱気が甦る。参加者は常連を始め母親達の応援団。ボール選び等しながら、久しぶりの仲間とお喋りやエールの交換で皆笑顔！

いよいよ2ゲームマッチのスタート。上級者の白熱の戦いや、思い思いのスタイル?の仲間に大きな声援が響き、賑やかな会場。最後の成績発表では、今年のチャンピオンに拍手で大盛り上がりの楽しい一日でした。作業所のスタッフ、役員さんに心から感謝!です。(朝河 則子)



国連総会において、毎年4月2日を「世界自閉症啓発デー」とすることが決議され、世界各地で自閉症に関する啓発の取り組みが行われています。

また、日本では4月2日～8日を「発達障害啓発週間」と位置付けています。

渋谷区では区役所とシンバフォントラボのあるハラカドを中心に啓発の展示やワークショップなどが行われました。

一人ひとりの理解が深まり、自閉症や発達障がいの人々にとって、暮らしやすい社会となることを心から願っています。

(林 多恵)



新 社会人デビューおめでとう

今年3月に港特別支援学校高等部を卒業しました。頻繁に卒業アルバムを手に取り、笑顔で眺めています。

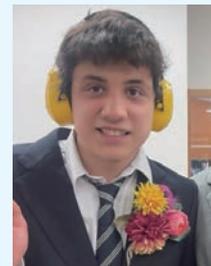
学生時代が終わり迷いや悩みも増えそうですが、先輩方、またいろいろ教えてください。(梶本 幸世)



港特別支援学校→くるるえびす 梶本 翔太郎さん

高等部進学おめでとう

新生活が始まりました。高等部でしたいことを聞くと文字で、「クラスの子達と会話がしたい」と回答。今ある困難を乗り越え、実現させたい夢です。大変なこともあるけれど、元気に登校しています。(新居 加寿子)



中野特別支援学校高等部 ミネスコ新居 オレルさん

しゅはち隊 出動! 渋谷区職員研修

6月2日(月)・3日(火)の2日間、渋谷区職員研修にて、しゅはち隊による啓発活動を行いました。延べ約240名が参加し、合理的配慮をテーマにしたグループワークでは、多様な視点から活発な意見交換が行われました。

研修を通じ、知的障害や発達障害のある人は「周囲を困らせている」のではなく、「一番困っているのは本人」であり、少しの思いやりや配慮が、当事者にとって暮らしやすさにつながることを感じていただければと思います。

(道井 美樹)



訃報

心よりご冥福をお祈りいたします。

会員 許斐 真紀子 様は
令和6年12月1日 ご逝去されました。(享年57歳)

会員 藤崎 朋美 様のご夫君 稔 様は
令和7年4月11日 ご逝去されました。(享年62歳)

編集後記

新年度がスタートしました!

6月に入り、梅雨前線が消えたり戻ったり、真夏日も続いています。体調管理にご注意ください。

11月には全国大会(東京)も開催予定。プリズムでご紹介しますので、お楽しみに♪

